

2008年の東北地方の天候（速報）

○少雪

○春の高温

○春と秋の東北北部の少雨

○遅い梅雨入り・梅雨明け

○平成20年8月末豪雨

○台風の上陸なし

本資料は、12月20日までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値による気候統計値については、2009年1月5日（月）に改めて発表します。

1. 2008年の東北地方の天候の特徴

2008年は、春や秋の高温があり、年平均気温では高温となった。

冬は、1月中旬などに気温が低くなつたが、冬型の気圧配置が続くことは少なく、冬の平均気温は平年並だった。北日本や本州南岸を通過した低気圧の影響で、日照時間が少なかつたが、低気圧が発達することは少なく、降雪量は少なかつた。

春は、寒気の南下がほとんどなかつたため、平均気温はかなり高くなつた。また、期間を通して低気圧が本州南岸を東進することが多かつたため、東北太平洋側では寡照となつたが、低気圧や寒気の影響を受けることが少なかつた東北北部では、降水量が1946年以降最も少なかつた。

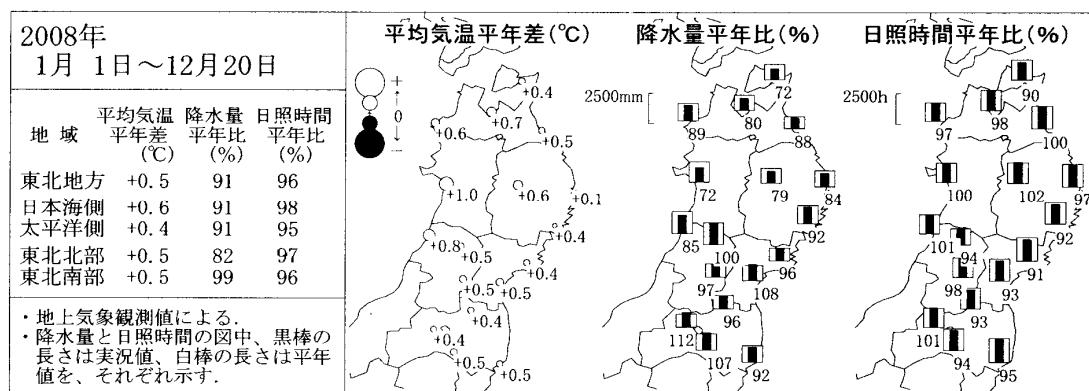
夏は、6月は前線が日本の南岸に停滞することが多かつたため、高気圧におおわれて晴れの日が多く、梅雨入りは遅かった。梅雨入り後も7月上旬までは低気圧や前線の影響は小さく、降水量は少なかつたが、7月中旬以降は、上空の寒気や、低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日が多くなり、梅雨明けも平年より遅かった。8月の終わりには、各地で大雨による災害も発生した（平成20年8月末豪雨）。

秋は9月と10月に気温が高かつたことから、平均気温は高かつた。また、高気圧におおわれて晴れの日多かつたため秋の降水量は少なく、特に東北北部で1946年以降最も少なかつた。日照時間は東北地方で多く、特に東北日本海側ではかなり多かつた。11月は中旬に寒気が入り、寒暖の変動が大きかつた。

今年の台風上陸数は0個（平年値2.6個）であり、1951年（昭和26年）の台風統計開始以降4回のこととなつた。

年平均気温は、東北地方で平年差+0.5°Cと高い。年降水量は、東北北部で82%とかなり少なく、東北南部で99%と平年並。年間日照時間は、東北地方で平年比96%と少ない。

なお、値は2008年1月1日から12月20日までの暫定値です。



年平均気温・年降水量・年間日照時間平年差（比）の分布図

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については4ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。

本件に関するお問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間において出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

2. 2008年の気候表(12月20日までのデータを使った速報値)

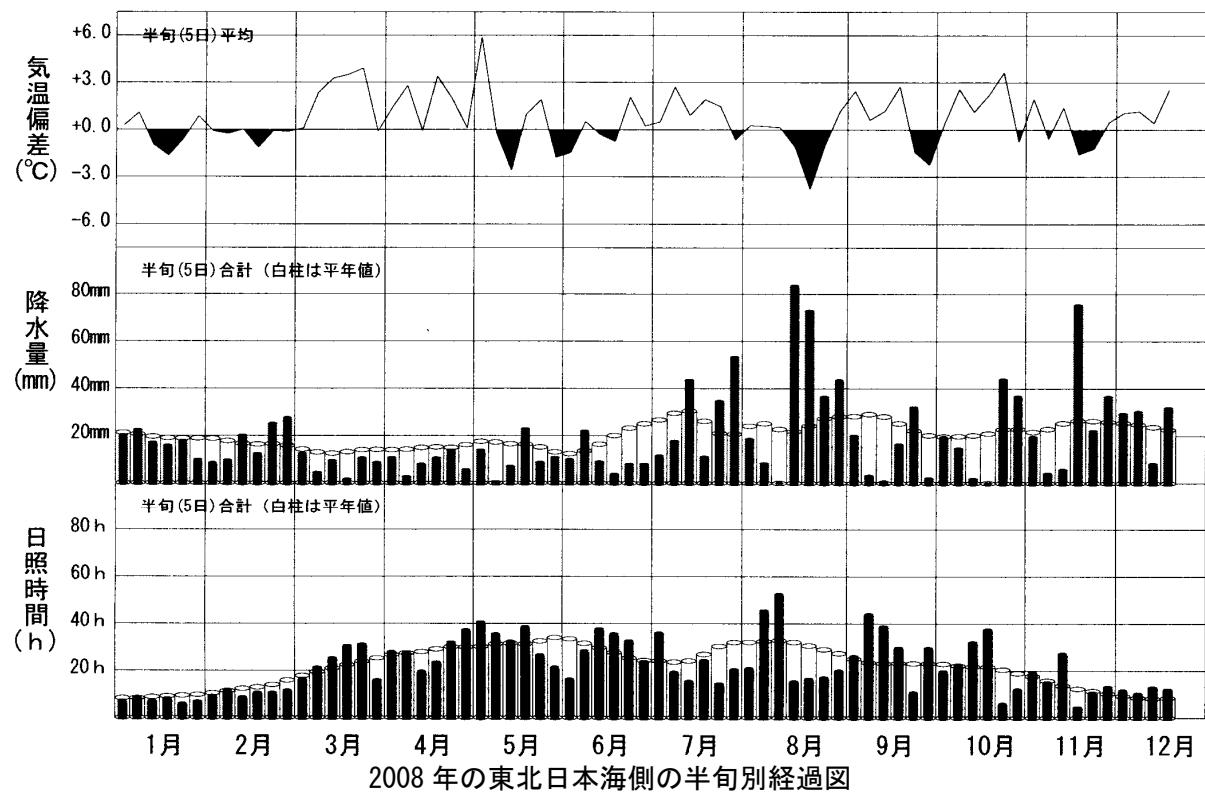
地 点 名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
青 森	11.1	(+0.7)	998.0	(80)	138	1626.3	(98)
深 浦	11.5	(+0.6)	1285.0	(89)	130	1461.4)	(97)
む つ	10.1	(+0.4)	919.0)	(72)	121)	1499.1)	(90)
八 戸	10.8)	(+0.5)	867.0	(88)	105	1878.3)	(100)
秋 田	12.7	(+1.0)	1205.0	(72)	139	1583.6	(100)
盛 岡	11.0	(+0.6)	983.5	(79)	113	1745.3	(102)
大 船 渡	11.8	(+0.4)	1389.0	(92)	97	1646.0)	(92)
宮 古	10.9	(+0.1)	1092.5	(84)	77	1809.5)	(97)
仙 台	13.0	(+0.5)	1328.5	(108)	97	1662.7	(93)
石 卷	12.1)	(+0.4)	1013.0)	(96)	85)	1763.3)	(91)
山 形	12.3	(+0.5)	1069.0	(97)	127	1591.3)	(98)
新 庄	11.3	(+0.5)	1785.0)	(100)	163)	1259.3)	(94)
酒 田	13.4	(+0.8)	1535.0	(85)	162	1588.1)	(101)
福 島	13.5	(+0.4)	1048.5	(96)	101	1622.3)	(93)
若 松	12.2	(+0.4)	1237.0	(112)	138	1626.2	(101)
白 河	12.1)	(+0.5)	1455.0)	(107)	119)	1685.5)	(94)
小 名 浜	13.9	(+0.5)	1260.0)	(92)	104)	1898.7)	(95)

※値の横に) がある場合には、年別値を求める際に使用したデータに欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。

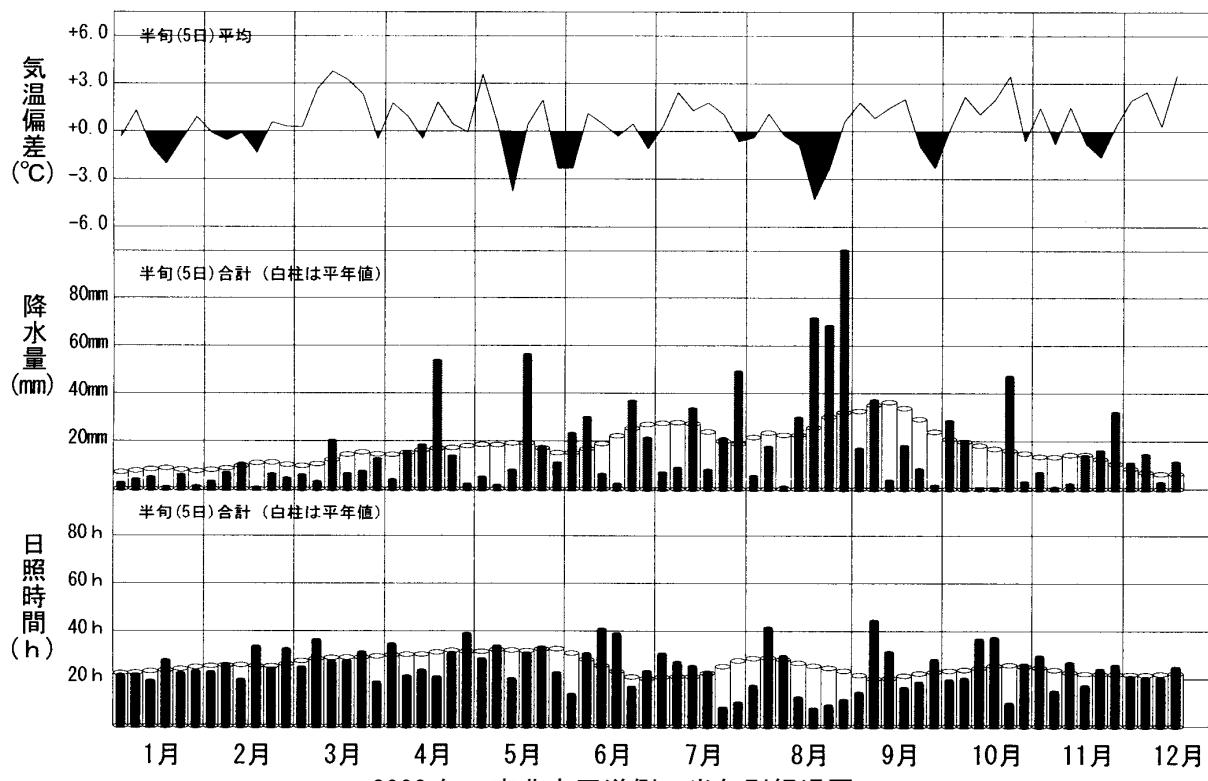
3. 月別トピックス

- 1月：少雪・少雨、中旬の低温
- 2月：少雪・東北太平洋側の少雨、東北日本海側の寡照
- 3月：高温、少雨
- 4月：東北日本海側の高温、東北北部の少雨・東北南部の多雨、東北南部の寡照
- 5月：気温の変動が大きい
- 6月：東北日本海側の少雨、青森県で竜巻が発生
- 7月：上旬・中旬の高温、上旬の少雨、下旬の多雨・寡照
- 8月：上旬の少雨、中旬・下旬の多雨、中旬・下旬の低温
- 9月：上旬と中旬の高温・下旬の低温、少雨、多照
- 10月：高温、中旬の少雨・多照
- 11月：気温の変動が大きい、中旬末からの低温・大雪、秋田県で竜巻が発生

4. 2008 年の東北地方の半旬別経過図



2008 年の東北日本海側の半旬別経過図

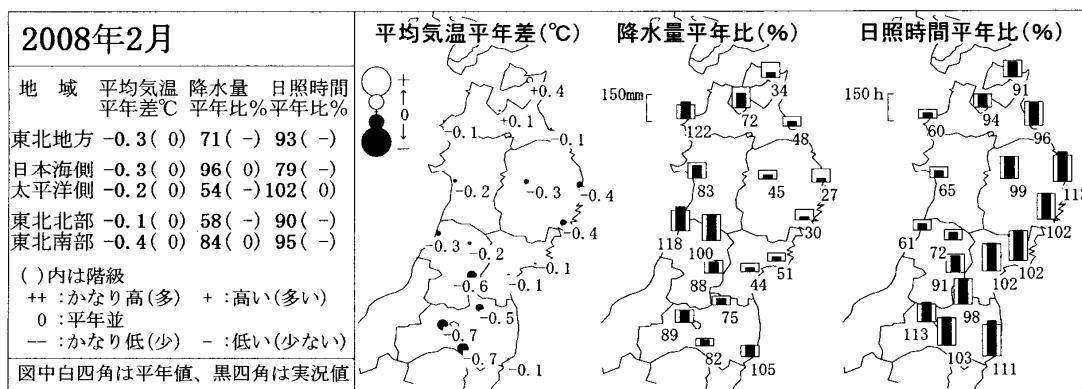
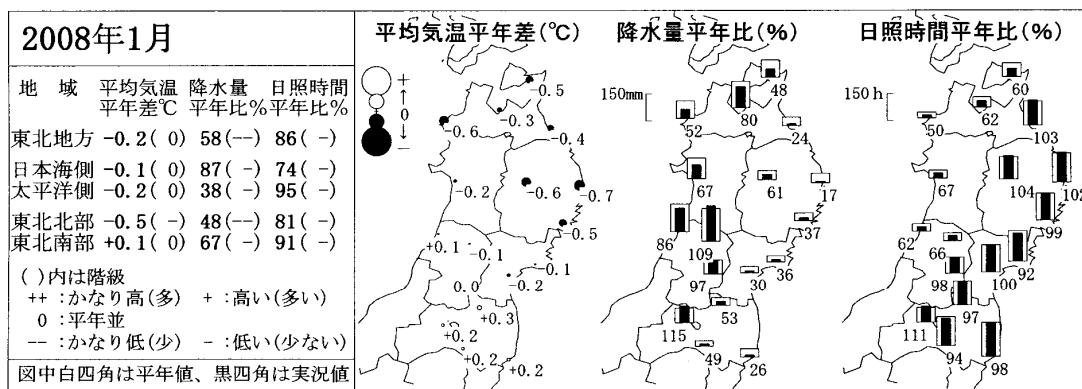
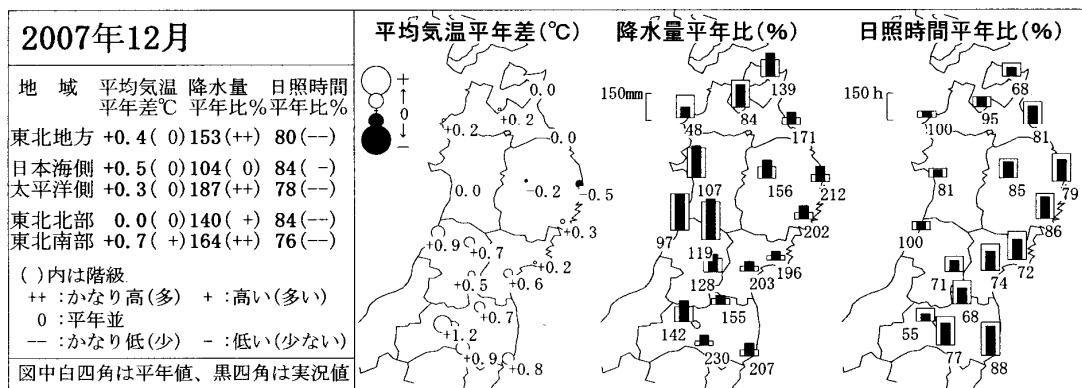
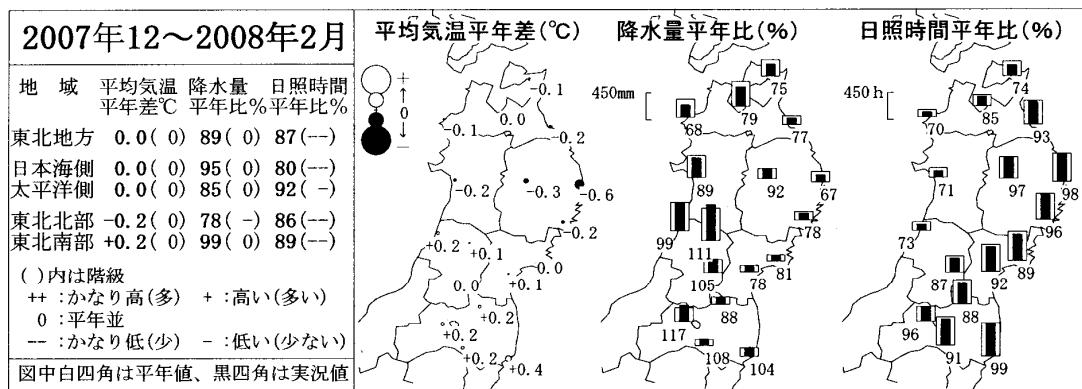


2008 年の東北太平洋側の半旬別経過図

(気温：地域平均平年差、降水量・日照時間：黒い円柱は実況の地域合計、白抜き円柱は平年値の地域合計)

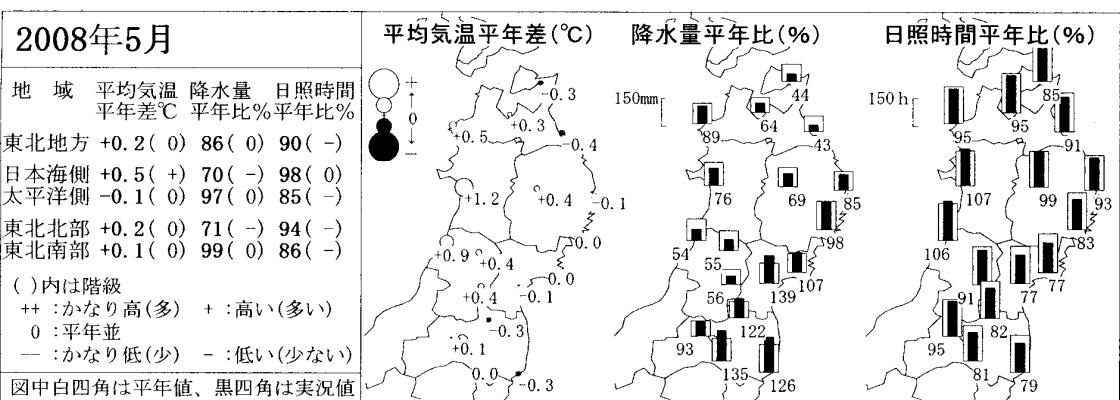
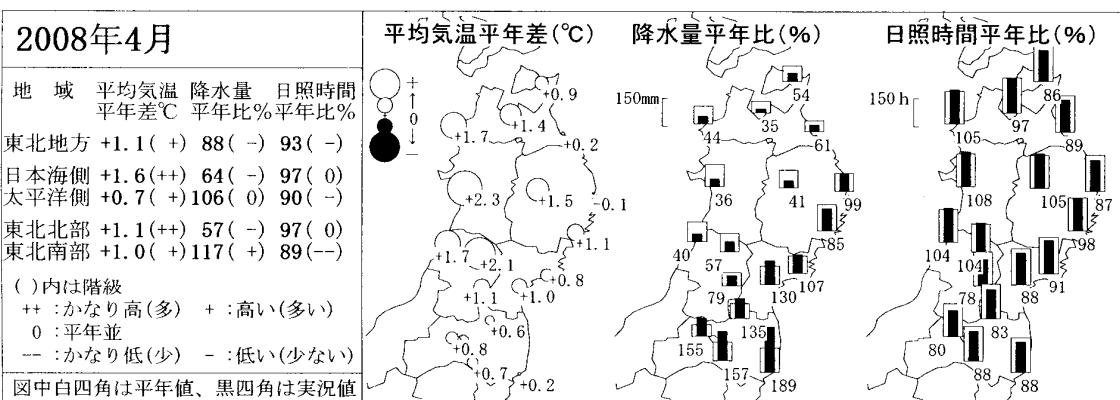
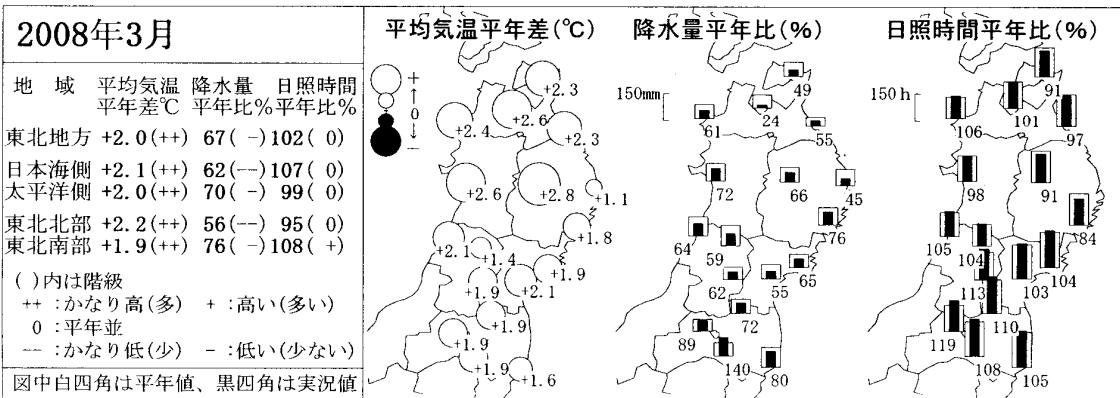
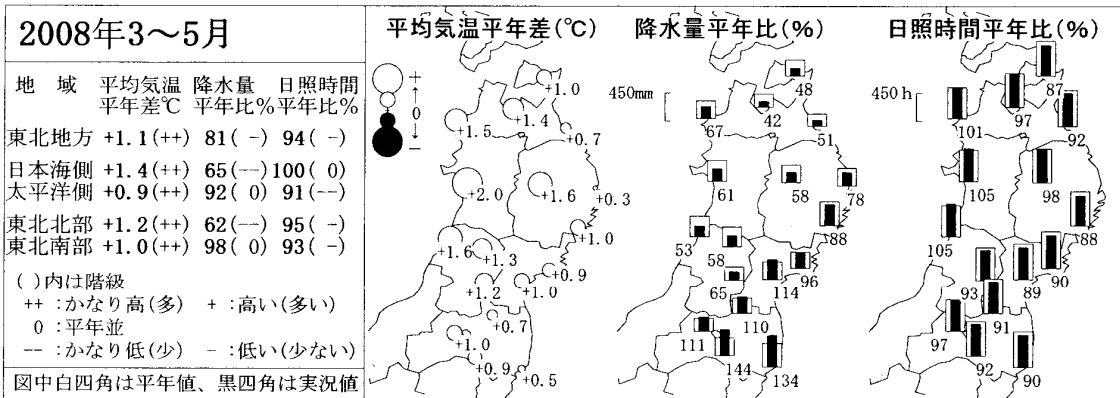
注) 東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津
東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

5. 2008年の季節・月平均（合計）値の平年差(比)

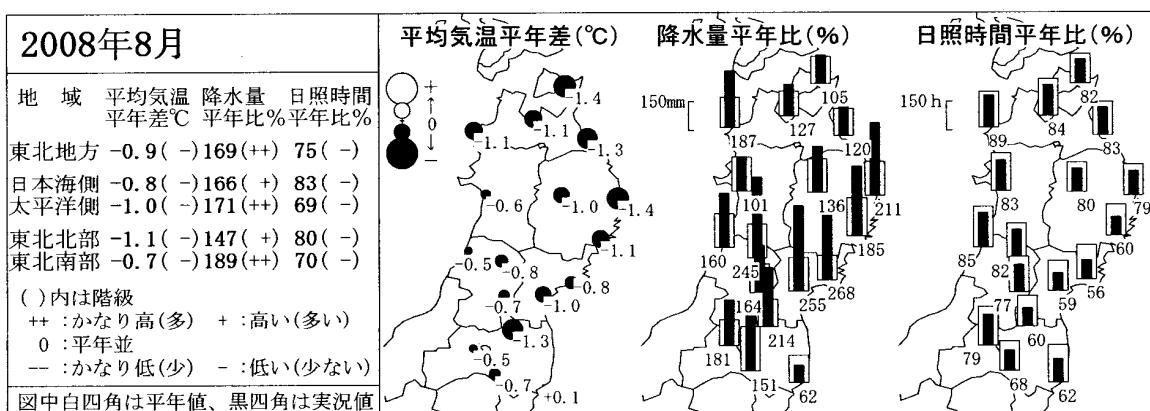
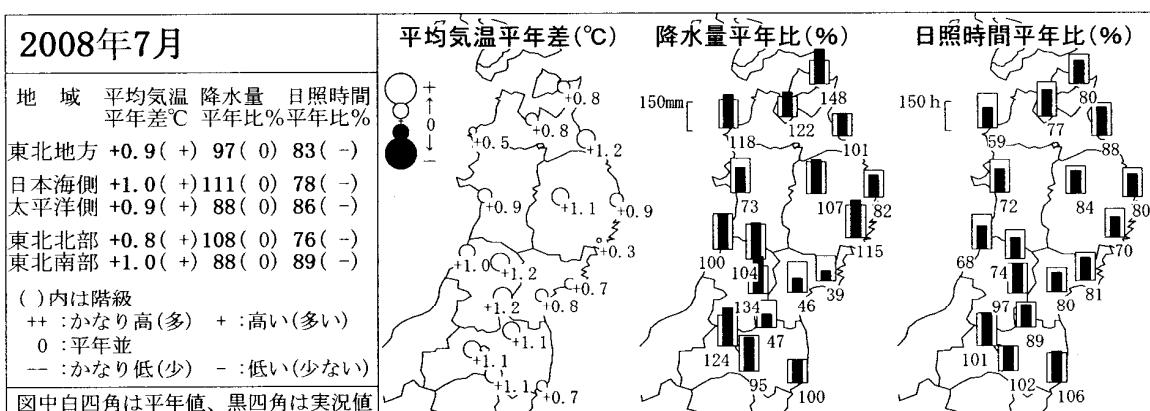
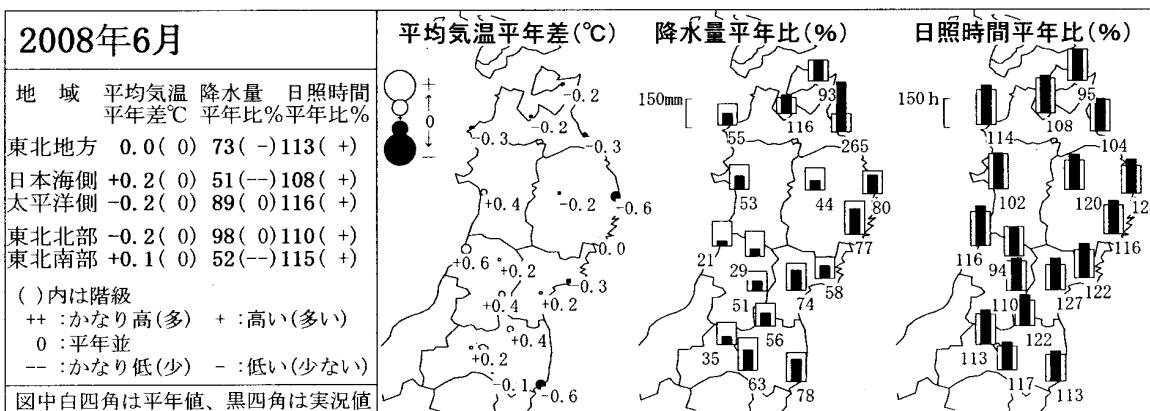
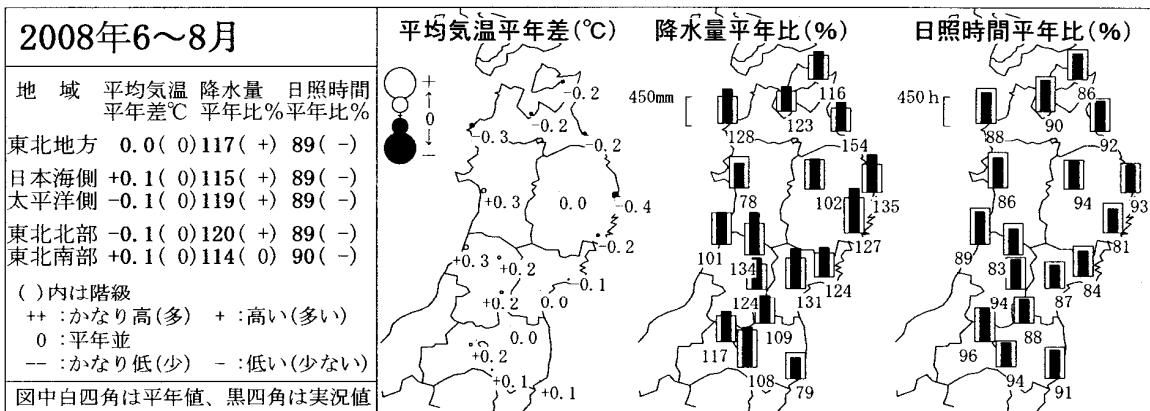


平年値の統計期間は1971～2000年。

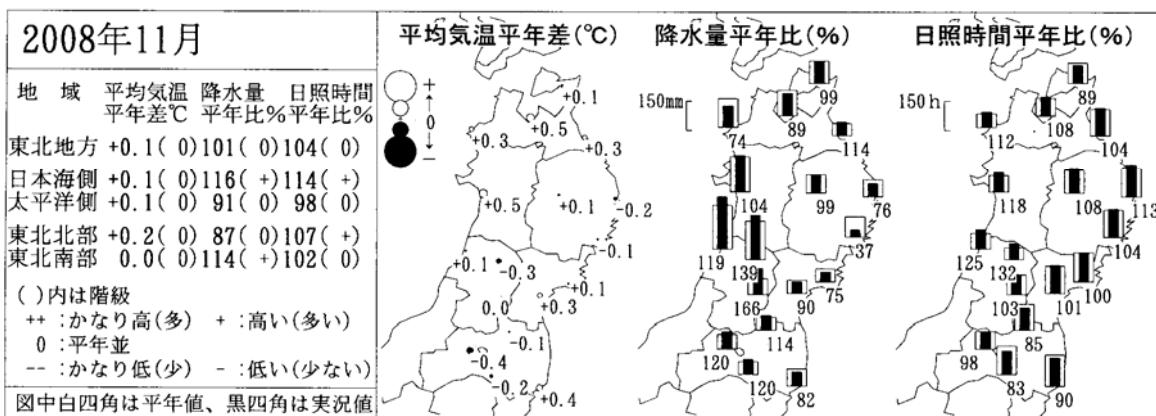
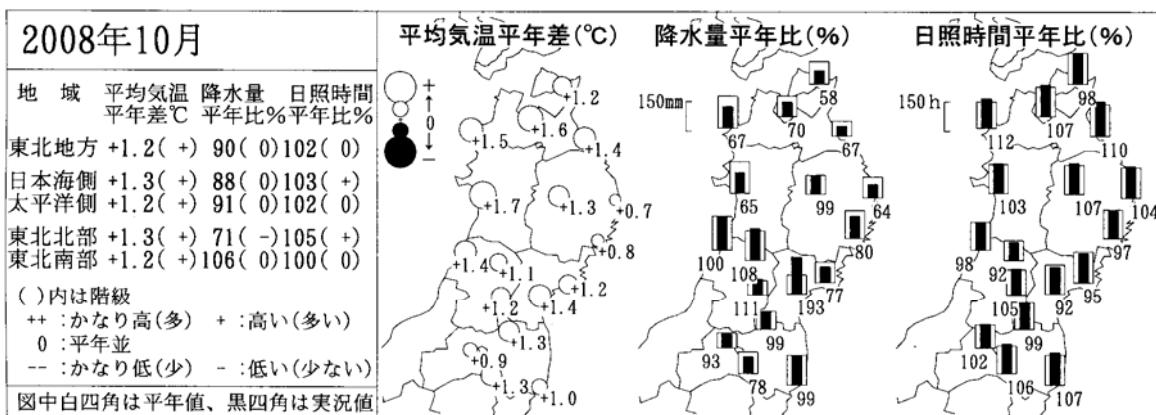
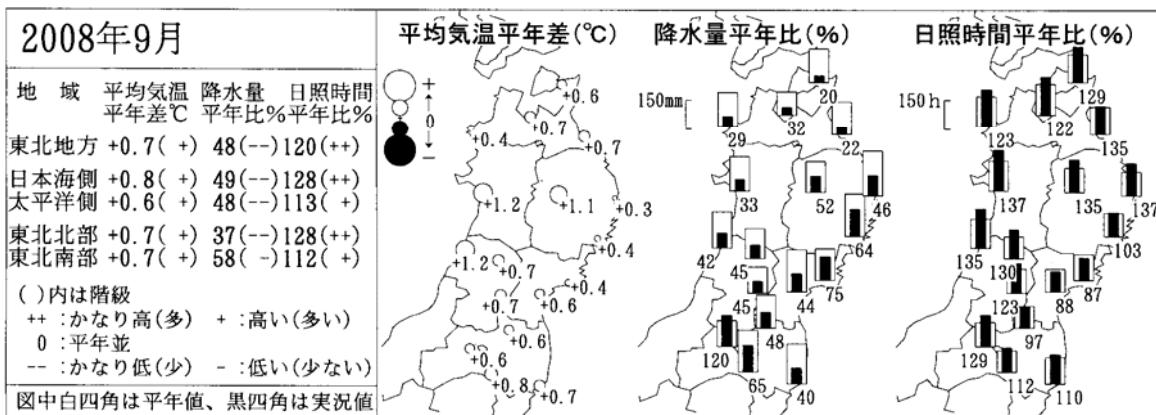
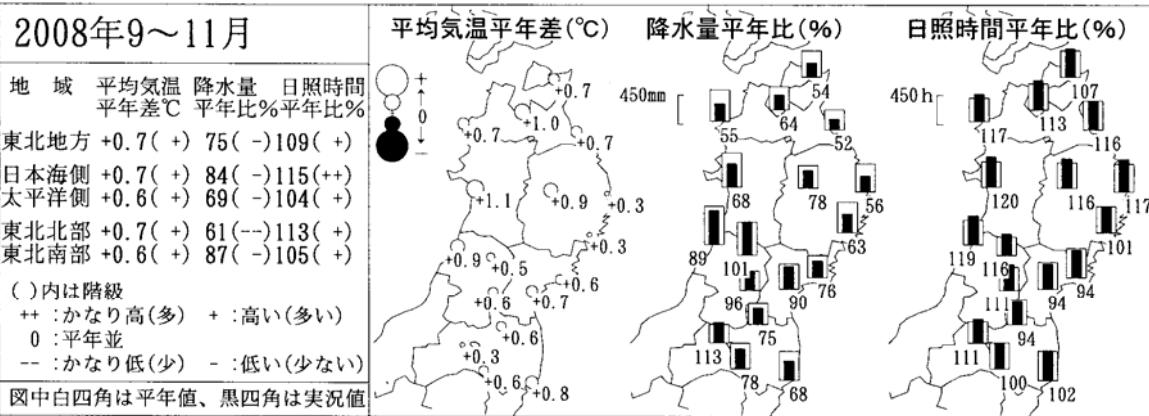
- 注) 東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津
東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り
- 東北北部：青森県、秋田県、岩手県
東北南部：宮城県、山形県、福島県



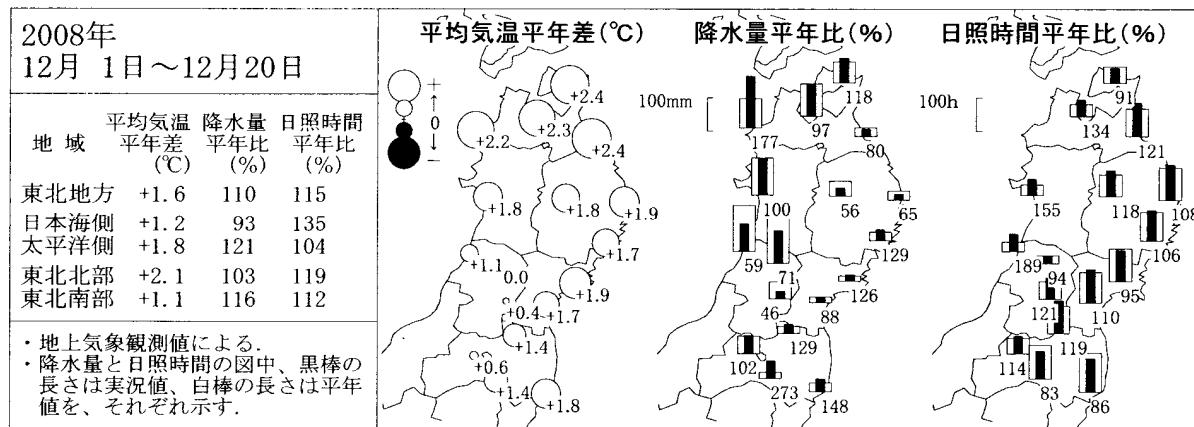
平年値の統計期間は1971～2000年。



平年値の統計期間は1971~2000年。



平年値の統計期間は1971~2000年。



6. 年の極値更新（12月20日までのデータによる）

年平均気温、年降水量、年日照時間

* 順位の更新はタイ記録を含んでいる。タイ記録は「=」で表す

年降水量の平年比が最小値を下回っている地点

地点名	平年比 %	値 mm	平年値* mm	これまでの最大 平年比(西暦年)	開始年
むつ	72	919.0	1272.2	76 (1984)	1935
秋田	72=	1205.0	1666.2	72 (1994)	1886

7. 季節の極値・順位更新

季節平均気温、季節降水量、季節日照時間の3位まで冬は前年12～2月、春は3～5月、夏は6～8月、秋は9～11月の統計値

* 順位の更新はタイ記録を含んでいる。タイ記録は「=」で表す

季節平均気温高い方からの順位更新

季節	順位	地点名	平均気温 °C	平年差 °C	これまでの最高 平年比(西暦年)	開始年	平年値 °C
	1位	秋田	10.9 =	+2.0	10.9 (1998)	1886	8.9
春	2位	盛岡	9.6	+1.6	9.9 (1998)	1924	8.0
	3位	酒田	11.2	+1.6	11.7 (1998)	1937	9.6
		山形	10.6 =	+1.2	11.8 (1998)	1891	9.4

季節降水量多い方からの順位更新

季節	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm(西暦年)	開始年	平年値 mm
春	2位	白河	419.5	144	483.0 (1992)	1940	291.6

季節降水量少ない方からの順位更新

季節	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
冬	2 位	むつ	205.0	75	174.0 (1976)	1936	273.6
	3 位	深浦	205.0	68	194.2 (1948)	1941	299.4
春	1 位	新庄	181.0	58	203.0 (1994)	1958	313.6
		青森	88.5	42	122.7 (1886)	1886	209.0
		むつ	121.5	48	123.0 (1976)	1935	250.6
		秋田	203.0	61	224.5 (1994)	1886	333.4
秋	2 位	深浦	186.5	67	132.5 (1984)	1940	280.4
		八戸	100.5 =	51	83.5 (1994)	1937	195.2
		酒田	171.0	52	161.5 (1994)	1937	325.8
夏	3 位	盛岡	162.0	58	136.5 (1928)	1924	277.3
	2 位	深浦	270.5	55	248.0 (1987)	1940	488.7
	3 位	八戸	159.0	52	140.0 (1969)	1937	306.0

季節日照時間多い方からの順位更新

季節	順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
秋	3 位	八戸	515.2	116	538.5 (1982)	1937	443.7

8. 月の極値更新

月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計の多い方から、月最深積雪の大きい方からの1位のみ

順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

月	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
3月	深浦	5.0	+2.4	4.9 (2002)	1940	2.6
	青森	4.6	+2.6	4.5 (1990)	1886	2.0
	秋田	5.8	+2.6	5.5 (2002)	1886	3.2
	盛岡	4.6	+2.8	4.0 (2002)	1924	1.8

月降水量多い方からの順位更新

月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
6月	八戸	263.0	265	236.7 (1954)	1937	99.2

月降水量少ない方からの順位更新

月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3月	青森	17.0	24	20.5 (1998)	1886	69.5
6月	若松	40.5	35	50.0 (1987)	1954	115.7
	酒田	27.0	21	37.4 (1957)	1937	128.1
9月	深浦	50.5	29	59.5 (2002)	1940	176.0
	むつ	35.0	20	47.7 (1963)	1935	172.7
	八戸	37.5	22	47.0 (1970)	1937	167.7

月間日照時間少ない方からの順位更新

月	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
12月	若松	39.7	55	42.0 (1992)	1953	72.0
1月	むつ	46.2	60	47.0 (1988)	1935	77.0

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

月	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
11月	八戸	20	18 (1985)	1953	8

9. 梅雨入りと梅雨明け

6月は梅雨前線が日本の南海上に停滞することが多く、東北地方の梅雨入りは平年よりも遅くなつた。7月前半は梅雨前線の活動は平年に比べて弱かつたが、7月下旬以降は北陸から東北にかけて停滞した梅雨前線や上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となって局地的な大雨となつたところがあつた。このため、東北地方の梅雨明けは8月に入ってからとなつた。

地 域	梅 雨 入 り		梅 雨 明 け		梅雨の時期の降水量(mm) (かっこ内は平年値(mm) : 注2参照)と平年比
	今 年	平 年	今 年	平 年	
東北南部	6月22日 ごろ	6月10日 ごろ	8月6日ごろ	7月23日 ごろ	仙台 131.5(243.8) 54% 山形 220.0(212.2) 104% 福島 132.0(222.5) 59%
東北北部	6月23日 ごろ	6月12日 ごろ	8月5日ごろ	7月27日 ごろ	青森 177.0(141.6) 125% 盛岡 214.5(224.5) 96% 秋田 158.5(244.1) 65%

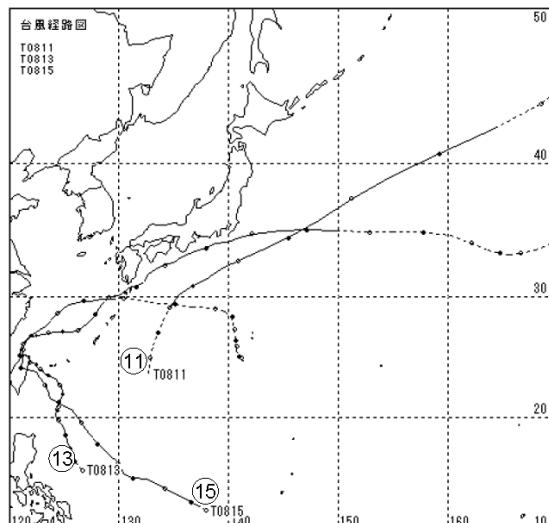
注1) 梅雨は季節現象であり、その入り・明けは平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間がある。

このため、時期の表現は「移り変わり」の期間の概ね中日をもって「**日ごろ」としている。

注2) かっこ内は比較のための降水量で、同時期（東北南部は6月22日～8月5日、東北北部は6月23日～8月4日）の日別平年値の合計値を示している。

10. 東北地方に影響を及ぼした主な台風

今年の台風は、4月15日に台風第1号が発生して以来、12月20日現在22個発生している。台風発生数は平年(26.7個)より少なく、また上陸数は平年(2.6個)より少ない0個、本土接近数も平年(5.2個)より少ない3個であった。台風の上陸数が0個だったのは、2000年(平成12年)以来のことと、1951年(昭和26年)の台風統計開始以降4回目となる。これは台風の発生数が少なかったことと、高気圧が平年より日本の南や西に張り出し、日本に北上せず東シナ海や中国大陸へ進む台風が多かったことが一因である。日本本土には台風第11号、第13号、第15号の3つの台風が接近したが、東北地方に大きな影響を及ぼすような台風はなかった。



2008年に日本本土に接近した台風の
経路図 (○は台風番号)

今年と平年の月別の台風発生数、上陸数、本土接近数(2008年12月20日現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	今年				1	4	1	2	4	5	1	3	1	22
	平年	0.5	0.1	0.4	0.8	1.0	1.7	4.1	5.5	5.1	3.9	2.5	1.3	26.7
上陸数	今年													0
	平年						0.2	0.5	0.9	0.9	0.1	0.0		2.6
接近数	今年								1	1	1			3
	平年					0.0	0.3	1.2	1.6	1.6	0.7	0.0		5.2

11. 真冬日と真夏日の日数

真冬日（日最高気温が0°C未満の日）の日数（前年12月～2月）

地 点	12月 日	(平年値) 日	1月 日	(平年値) 日	2月 日	(平年値) 日	冬合計 日	(平年値) 日
青 森	1	3.8	10	10.0	8	7.7	19	21.3
深 浦	0	2.2	10	9.2	6	7.6	16	19.0
む つ	1	3.4	12	10.1	7	8.0	20	21.4
八 戸	0	2.0	8	6.8	4	5.3	12	14.0
秋 田	0	1.0	8	6.0	2	5.0	10	12.0
盛 岡	1	2.2	9	8.2	2	5.3	12	15.6
大 船 渡	0	0.5	1	2.5	1	1.7	2	4.6
宮 古	0	0.1	1	1.3	1	1.2	2	2.7
仙 台	0	0.1	0	1.1	0	0.9	0	2.1
石 卷	0	0.3	1	2.1	1	1.6	2	4.0
山 形	0	1.1	2	5.6	1	3.9	3	10.7
新 庄	0	2.3	9	9.0	3	6.9	12	18.1
酒 田	0	0.2	0	2.5	1	2.0	1	4.6
福 島	0	0.1	0	1.3	1	1.1	1	2.4
若 松	1	0.9	2	5.6	3	3.9	6	10.4
白 河	0	0.3	0	2.4	1	1.8	1	4.6
小名浜	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

真夏日（日最高気温30°C以上）の日数（6月～8月）

	日最高気温30°C以上				日最高気温 35°C以上 08夏 年	日最低気温 25°C以上 08夏 年	今夏（6～8月） の最高気温 (°C) (起日)	
	6月		7月				夏	
	08年	平年	08年	平年	08年	平年	08年	平年
青森	0	0.4	1	3.9	3	7.6	4	11.9
深浦	0	0.0	1	1.4	0	3.9	1	5.2
むつ	0	0.1	0	2.1	0	4.0	0	6.2
八戸	0	0.6	5	5.2	2	7.4	7	13.2
秋田	1	0.2	5	4.9	9	9.7	15	14.8
盛岡	1	0.8	4	6.5	7	10.1	12	17.4
大船渡	0	0.4	0	3.4	0	5.7	0	9.6
宮古	1	0.6	3	4.4	3	6.8	7	11.7
仙台	0	0.4	4	5.1	6	9.9	10	15.4
石巻	0	0.1	1	2.3	3	4.8	4	7.2
山形	4	2.4	17	11.7	15	17.5	36	31.6
新庄	2	1.1	9	7.9	13	13.0	24	22.0
酒田	1	0.5	5	6.5	8	12.6	14	19.6
福島	5	3.4	14	13.3	12	18.1	31	34.9
若松	4	2.2	15	12.1	16	18.4	35	32.7
白河	0	0.6	9	6.8	8	10.7	17	18.2
小名浜	0	0.3	0	1.9	6	3.8	6	6.0

今夏（6～8月）の最高気温の＊は日最高気温の1位の値を更新

12. 2008年の季節現象

桜の開花・満開

(統計期間: 1953年~2007年: 平年値は1971年~2000年)

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2008)	平年値	昨年 (2007)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2008)	平年値	昨年 (2007)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.17	4.26	4.25	4.14/2002	5.11/1984	4.21	5.01	4.29	4.16/2002	5.18/1984
盛岡	4.12	4.23	4.20	4.11/2002	5.06/1984	4.17	4.27	4.29	4.16/2002	5.09/1984
仙台	4.05	4.12	4.06	3.29/2002	4.28/1984	4.11	4.18	4.12	4.03/2002	5.03/1984
秋田	4.10	4.19	4.18	4.07/2002	4.30/1984	4.15	4.24	4.23	4.12/2002	5.08/1965
山形	4.12	4.17	4.13	4.03/2002	4.29/1984	4.16	4.21	4.19	4.06/2002	5.04/1984
酒田	4.09	4.16	4.12	4.04/2002	4.27/1984	4.13	4.20	4.19	4.08/2002	5.02/1965
福島	4.06	4.11	4.02	3.29/2002	4.25/1984	4.11	4.15	4.09	4.02/2002	4.28/1984
小名浜	3.30	4.08	3.29	3.25/2002	4.25/1984	4.05	4.14	4.05	4.01/2002	4.29/1984

開花: 標本木が5~6輪開花した状態

満開: 標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態

寒候期現象の初日

2008/2009年寒候期 季節現象(初日)												
官署名	初霜			初氷			初雪			本年	平年	昨年
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年			
青森	11.11	10.23	×	11.11	10.29	11.19	11.4	11.7	11.15			
秋田	11.11	11.6	×	11.20	11.13	11.19	11.19	11.12	11.15			
盛岡	11.2	10.18	11.5	11.10	10.24	11.5	11.8	11.8	11.16			
仙台	11.27	11.6	11.17	11.27	11.16	11.17	11.20	11.22	11.18			
山形	11.2	10.24	11.17	11.2	10.29	11.17	11.19	11.16	11.18			
酒田	11.11	11.12	11.20	11.12	11.20	11.19	11.19	11.17	11.16			
福島	11.21	11.6	11.17	11.21	11.11	11.17	11.20	11.24	11.18			
若松	10.30	10.28	10.24	11.5	11.6	10.24	11.19	11.17	11.18			

* 昨年の青森・秋田の初霜は、積雪によって霜が観測できなかった期間があり、欠測(×)となりました。

初冠雪												
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
八甲田山	1584	10.12	10.16	10.13	雁戸山	1485	10.30	10.28	11.16			
岩木山	1625	10.29	10.15	11.2	瀧山	1362	10.30	10.30	11.16			
太平山	1170	11.9	10.31	11.16	泉ヶ岳	1175	11.19	11.6	11.16			
岩手山	2038	9.27	10.13	10.15	蔵王山	1841	10.30	10.23	10.22			
鳥海山	2236	9.28	10.9	10.13	吾妻山	1949	10.27	10.21	10.21			
月山	1984	9.27	10.15	10.22	飯豊山	2105	9.28	10.17	10.22			
朝日岳	1870	10.30	10.19	11.13	磐梯山	1819	10.30	10.24	11.13			

注: 蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

* 小名浜測候所が平成20年10月1日に特別地域気象観測所へ移行をしたことに伴い、小名浜における寒候期季節現象の観測は終了しました。

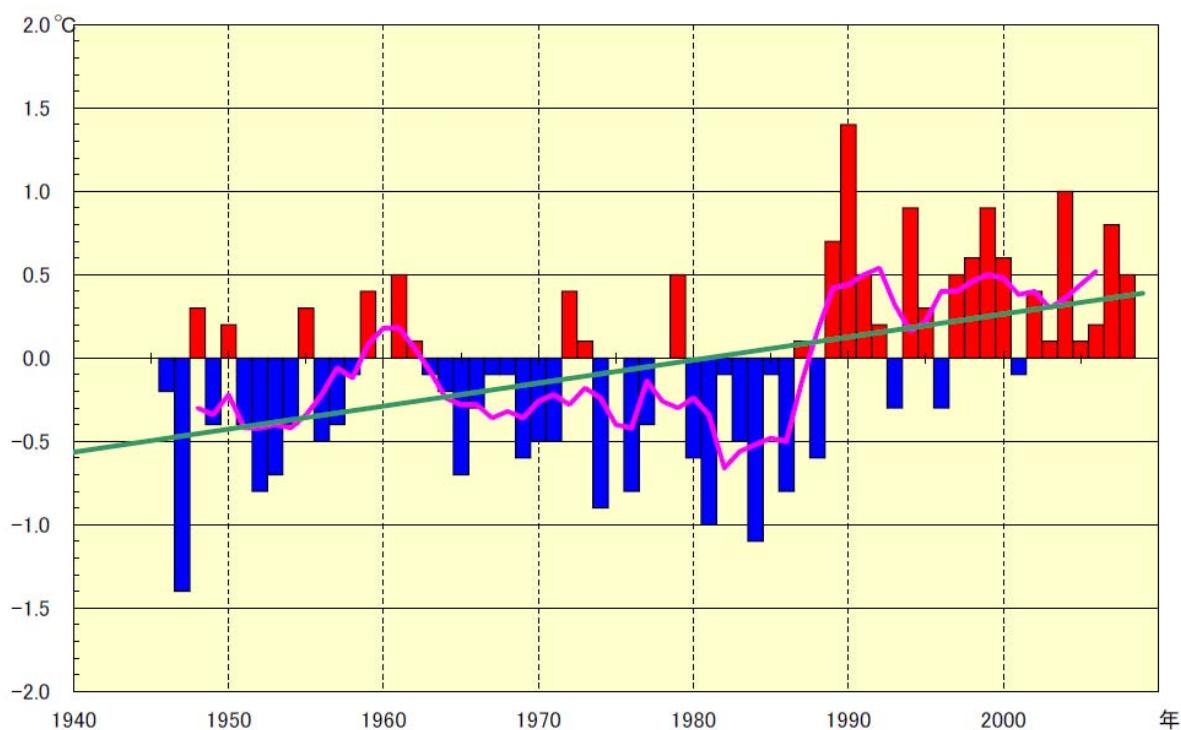
13. 東北地方の年平均気温の平年差の推移

2008年の東北地方の年平均気温の平年差は+0.5°C（2008年1月1日から12月20日までの暫定値）で「高い」となる見込みです。

地球温暖化や都市化による経年的な気温上昇と、1998年以降北半球対流圏の平均的な気温が高いことにより、近年の気温ベースは高温側に偏っている傾向にあります。今年は、春と秋の高温の影響もあり、年平均気温は高くなる見込みです。

東北地方の1946年からの年平均気温の平年差の経年変化をみると、年々の変動はあるものの、長期的にみて気温は上昇しています。また、この傾向の中にも相対的に気温の低い時期と高い時期が繰り返されており、1980年代終わりから高温が現れやすい状態が続いています。

図中の直線で表される年平均気温の数十年～百年規模での上昇の要因としては、二酸化炭素等温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化が考えられます。また、図中の折れ線で表される5年移動平均の変動には、長期的な変化に加えて、海面水温の変動等にみられる年～数十年程度の時間規模の自然変動が関わっていることが考えられます。



東北地方の年平均気温の平年差の経年変化 (1946~2008年、2008年は暫定値)
棒グラフは各年の値。折れ線は各年の値の5年移動平均。直線は各年の値の近似直線。